



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意
- むやみに動かず安全を確認
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に
- エレベーターを使用せず階段で避難
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動
- 負傷者の救護や初期消火に協力
- 家族との安否確認および大学へ安否連絡

地震発生直後は裏面へ



大学との連絡方法

安否連絡について

大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。連絡可能な状況になり次第、下記の方法で大学に連絡してください。

I・安否確認システム

大学から安否確認メールを受信した場合は速やかに回答する。

II・Eメール

anzen@jim.kit.ac.jp



報告事項

- ①学籍番号 ②氏名 ③本人・家族の状況
④自宅や付近の状況 ⑤その他

大学からの情報提供について

大学からの情報はホームページで確認してください。

<https://www.kit.ac.jp>



日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認（大学付近や自宅周辺等）
- 家族との連絡方法・待合せ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録（メール宛先等の事前登録が必要）
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認（災害時 徒歩速度 約 2.5km/h）
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認（大学および通学途中）
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学や友人等への連絡方法の確認およびリスト整備



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 現金（小銭も） | <input type="checkbox"/> 学生証（免許証等も） |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> アドレス帳 |
| <input type="checkbox"/> タオル・ばんそうこう・包帯 | （家族、友人の連絡先を記入） |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト | <input type="checkbox"/> 雨具（カッパ等） |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 携帯充電用 USB ケーブル |
| <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめ等 | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| <input type="checkbox"/> 常用薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴・スリッパ | <input type="checkbox"/> リュック |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ・軍手 | <input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き・カッター |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ・マスク | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 |
| <input type="checkbox"/> ラップ | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ |

memo

* 記入は油性のペンを使用してください。

災害時の 対応マニュアル



このマニュアルは災害時に確認できるよう、常に携帯してください

国立大学法人

京都工芸繊維大学

KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY



家族への連絡方法

電話 で確認 NTT災害用伝言ダイヤル

☎ 171 をダイヤル

録音 1

暗証番号を利用する録音 3

再生 2

暗証番号を利用する再生 4

被災地の方の電話番号を入力

伝言の録音 1*

伝言の再生 1*

*ダイヤル式電話機の方は操作不要です。

インターネット で確認 NTT災害用伝言板



<https://www.web171.jp>
(web171)へアクセス

伝言の登録

伝言の確認・再生

地震など大災害発生時に提供されるサービスです。

携帯電話 で確認 災害用伝言板サービス

事前の登録が必要です！（事前にテストをしてください）

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

各社の QR コードはこちら



NTTドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

ソフトバンク

<http://dengon.softbank.ne.jp/>

2024.1

災害用伝言ダイヤルとweb171は相互連携しています。詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

体験利用について 災害発生に備えて利用方法を事前に覚えられるよう、体験利用提供日が設定されています。

体験利用 毎月1日・15日(0:00~24:00)、正月三が日(1月1日0:00~1月3日24:00)
提供日 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)、防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

緊急時パーソナルメモ

氏名

学籍番号

緊急連絡先

住所

電話番号

持病

常用薬

アレルギー

血液型

自宅近くの避難場所

家族との待合せ場所
家族と共有しておきましょう

* 記入は油性のペンを使用してください。

地震発生直後

→ 揺れがおさまったら →

落ち着いたら① →

落ち着いたら②



今いる場所は
本当に安全？

YES
その場所を動かない
NO
避難場所へ避難



自宅に歩いて
帰れる？

YES
自宅へ
NO
避難場所へ



POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



大学にいるとき

大きな揺れを感じたら

- 危険物から離れる
窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。実習中などで周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- 落下物から頭と手足を守る
机の下にもぐる、バッグなどで頭を覆うなどして頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。
- 出口を確保する
ドア付近にいる人は、余裕があればドアを開け、出口を確保する。
- 揺れがおさまるのを待つ
安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

揺れがおさまったら

- 冷静に、落ち着く
余震の可能性もあるので、あわてずにしばらく様子を見る。
- 周囲の状況を確認
周囲のものが倒れたり、落下してくるおそれがない場合は、その場で待つ。危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。
- 初期消火
火災が発生している場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。
- 負傷者の救護
負傷者がいる場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。

避難する時の注意点

- 火災が発生している場合
煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- 階段で移動
エレベーターは使用せず、階段で移動する。

大学を基点とした避難場所

避難場所は、広く、火災による延焼のおそれがないところが適しています。大学ではあらかじめ以下の場所を避難場所として想定していますが、地震時の状況により安全な場所へ避難してください。

松ヶ崎キャンパス

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
避難場所▶▶ グラウンド

嵯峨キャンパス

〒616-8354 京都市右京区嵯峨一本木町
避難場所▶▶ 中庭広場

福知山キャンパス

〒620-0886 京都府福知山市字堀 3385
避難場所▶▶ 正面玄関前広場

帰宅する？学校に残る？

余震がおさまり落ち着いたら、自宅に帰るか検討する。交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになる。その場合の目安は20km。20kmよりも遠い人は避難場所へ。また、チェーンメールなどに惑わされず、テレビ・ラジオなどで正確な情報を収集しましょう。

大学から20kmの地図 (●松ヶ崎キャンパス) (◎嵯峨キャンパス)



通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りの安全な場所に避難するか」は自分で判断する。

- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。

家族等の電話番号

-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

memo

Blank memo area for notes.

- 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅しましょう。
- 災害時の歩行速度は約2.5km/時程度、10kmは4時間を要することになります。
- 日没後の行動は危険です。夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けましょう。

(目安の時刻)

月日	日没	日没
3月20日	06:01	18:09
6月20日	04:43	19:14
9月20日	05:43	17:57
12月20日	07:00	16:49

※悪天候時は1時間早く暗くなります。